

アバター動画広告の企画書

これからの販売促進の方法を覆す、新たな広報企画

I THINK THAT YOU SHOULD FORMULATE A MORE EFFECTIVE MARKETING STRATEGY.



〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北3-3-34
TEL.(053)473-2468 Mobile090-4114-4018
e-mail : ask-ad@mx5.nisiq.net

INDEX

■ 販売促進広告の推移	1
情報を伝えることの重要性、その流れが変化	
■ 受容される情報のカタチ	2
販売促進は、アナログからデジタルへ	
■ 動画広告という存在	3
サイトは待ちのツール、積極姿勢の動画広告	
■ 動画広告を活かす	4
動画広告の生きる場所、ビジネス動画広告は	
■ アバター動画広告の登場	5
動画広告の中でも特別な存在、アバターが話しかける	
■ アバターの広報にも企画力	6
キャラクターのアバターの意義、その活動の範囲	
■ アバター動画広告の優位点	7
なぜキャラクターアバターが求められるか	
■ アバター動画広告の制作料金	8
通常の動画広告料金とアバター動画広告の比較	
■ アバター動画広告の活かし方	9
情報伝達ツールの極み、進化するアバター動画広告	
■ アバター動画が生きる組織	10
どのような組織に、アバター動画広告が生きるのか	

販売促進広告の推移

企業の繁栄は売上増大にしかない

企業の繁栄は、どのような企業であっても、売上増大でしかありません。したがって、販売促進にはこれまで多くの方法が選択され、実施されてきました。会社案内、製品パンフレット、チラシ、ポスター、新聞広告、雑誌広告等の印刷物による広告媒体、テレビなどのマスメディアを中心に、長きにわたって、情報を発信してきました。その後インターネットが一般に行き渡ると、多くの企業から商店に至るまで、ホームページという情報発信の場が注目され、制作されて今日に至っています。

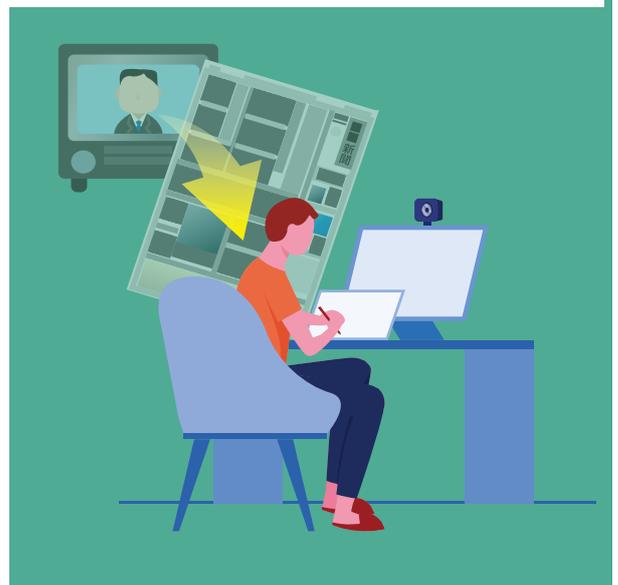
当社も、そうした販売促進の流れに沿って、45年間、各種印刷物の広告ツールから、ホームページの制作に至るまで、制作させて頂いてきました。その本質は、企業の発信する情報を、いかにユーザーに届けて、購買意欲を持ってもらい、製品やサービスを利用して頂くことを目的としてきました。それは大手企業から、躍進する中堅企業、商店でも同じことでした。

その流れが大きく変化して

こうした販売促進の方向が、今では大きく変わってきました。情報を受ける側の意識や環境が大きく変わってきたのです。

かつては、商品やサービスの情報、それを販売している企業の情報を得るためには、新聞や折り込みチラシ、店頭にかかれたパンフレット、テレビCMからの情報を得て、購買意欲が高まったのです。しかしながらテレビは高額な媒体使用料が必要であり、新聞広告でも全国紙では、数百万円が必要となります。これまでは、大手企業が情報発信の主導権を持っていた、ということになります。

ところが現在では、テレビの視聴率が以前のように伸びず、新聞も購読者が減っているのです。



受容される情報のカタチ

数十年変わらなかった販促の方法が

情報が受け入れられるのは、ユーザーがその情報に気付くこと、そして情報が必要になっていることです。

新聞を読む、雑誌を見る、テレビを見る、チラシを見る、店頭で商品を見る、これまでは、その流れの中にしか、情報がありませんでした。

企業側、広告発信側としては、そこに的を絞り、この数十年の間、販売促進をしてきました。その広告媒体の中で、情報提供を考えればよかったです。

ところが、近年その流れが大きく変わってきました。

それは、インターネットの普及です。新聞でも、テレビでも、雑誌でもない、このネット環境に、多くの情報が時間とともに拡大されてきたのです。

しかも情報は、これまでのどんな媒体よりも早く、情報量も比較にならないほど多いものです。

ネットでリアルタイムの情報収集

リアルタイムに溢れ出る情報。情報発信する企業も、一斉にホームページ掲載に奔走し、この波は中堅企業から商店に至るまで普及していきました。ホームページを持たない会社は、現在では、ほとんど無いのではないのでしょうか。ここが新たな情報を配信する基地となったのですから。

ニュースや商品情報も、次々にネットに現れ、映画やテレビ番組、個人的な動画まで、誰でも見られるようになりました。テレビ視聴率が上がらず、新聞の購読者が減っていくのも頷けます。

また、テレビや新聞は情報の配信時間が決まっていますが、ネットなら随時ユーザーの生活にリンクして、獲得することができます。ここから、いつでも必要な情報を検索して得られる時代になったのです。



動画広告という存在

ホームページは「待ち」のツール

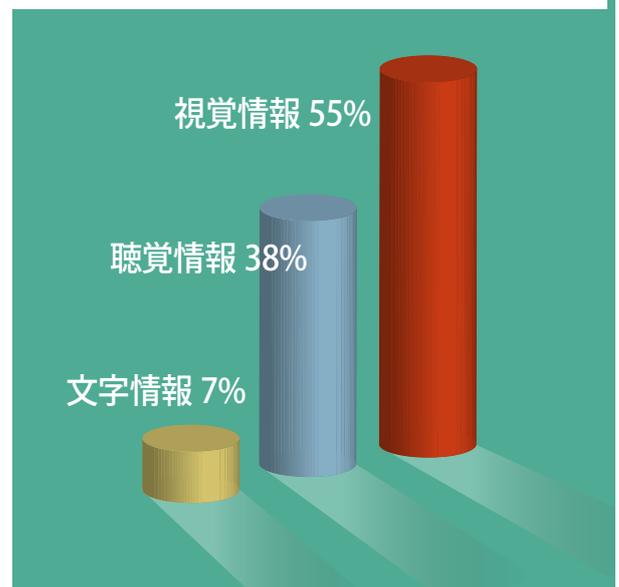
ホームページから情報を発信しようと、数え切れない数のサイトが出来上がりました。それぞれに工夫して、目立つように、注目されるように、情報の内容を精査して、作成されてきました。企業ブランディングが出来上がっていて、多くの来訪者があるサイト、これから認知度を上げていきたいサイトがありますが、ホームページは、常に訪問者を待つ立場にあるのが現実です。誰にも認知されていないサイトには、検索して訪れてくれるユーザーも少数でしょう。サイトを立ち上げた時の高揚感は薄れ、ずっとそのままになっているサイトも目立ちます。これでは、深い山奥に会社や店舗を建て、誰にも存在を知られず、開店休業状態になっていることと同様です。

動画広告は、積極的に情報を配信

そうした環境で、待っているのではなく積極的に情報を発信しようという流れが生まれました。それが動画広告です。そこに気が付き、すでに大手企業は、認知されているテレビCMをソースとしたり、新たな商品を訴求したりと、動画広告をネット環境で配信しています。動画広告は情報媒体として大きなメリットを持っています。それには数字的に明確な理由があります。人の受け取る情報のうち、新聞や雑誌などの文字情報は7%、ラジオやポッドキャストなどの聴覚情報は

38%、写真やフローなどの視覚情報は55%とであると、メラビアンの法則で説かれています。

テレビの情報番組でも、視覚に訴えるボードが多用されています。これまでのパンフレットなら、文字の7%と視覚の55%で62%の情報となります。ここに聴覚情報が加わったビジネス動画広告は、最強の販促ツールということになります。しかも静止画でなく、動画を使います。



動画広告を活かす

動画広告はどこで生きるか

現在、最も有効に活動しているのが Youtube、世界最大の動画共有サービスです。もちろん他の SNS でも活用されています。

Youtubeを例にとれば、企業の独自のチャンネルを構築し、そこに作成したビジネス動画広告を蓄積していきます。なるべく多くの動画を掲載すれば、ユーザーからの視聴も増えていきます。これは、検索エンジンで世界シェア約 92%、日本国内でも 75% 以上の、Google の傘下に Youtube があることが優位点になります。動画にオリジナル性の高いタイトルを付けてアップすると、検索サイトの Google に動画として上がるのです。しかも、通常の検索情報では 1 社だけなのですが、動画なら同時に複数あがってきます。これが、なるべく多くの動画をアップする理由です。

もちろん、ビジネス動画の最初の 5 秒間を Youtube 視聴者に見てもらいインストリーム広告 (広告費が必要) など、多々視聴を上げる方法があります。



ビジネス動画広告は再生回数にこだわらない

ユーチューバーがアップする動画は、少しでも多くの再生回数を獲得するために、面白おかしいバラエティの色が濃くなりますが、ビジネス動画広告は、企業の情報や商品内容を理解して頂くために配信しますので、数ではなく、本当に情報を求めている視聴者に届くことを目的としています。したがって、真面目な広告になることが多く、興味が沸かない動画になってしまうこともあります。ここに留意し動画広告を作成することが肝心です。現在、こうしたビジネス動画広告も次第に多くなってきましたので、その中でも特長が必要です。



アバター動画広告の登場

ビジネス動画広告の中で、かつてない存在

ビジネス動画広告が乱立する中で、他を圧倒する動画広告にしなければいけません。安易に表現を変えても、効果は薄いでしょう。これはパンフレット等でも同じことで、デザインを少々変えるだけでは、訴求力が上がることはありません。いかに情報の注視効果を上げて、視聴者への影響力を上げていくか？ということです。さらに情報をうまく取り入れてもらうための戦略が必要です。動画の構成やビジュアルが重要なのです。当社はデザイン会社ですから、動画をただ作るということだけでなく、より伝わるように、どう企画していくのか、という点では動画制作の専門会社とは異なります。

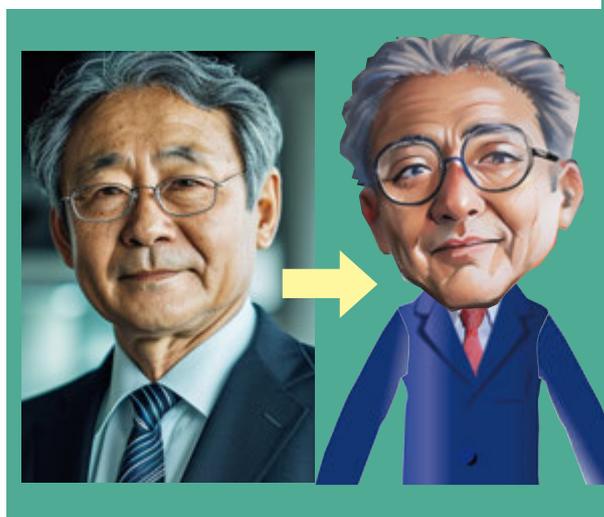
最大限注視効果を上げるために、動画広告にはない「アバター動画広告」を企画しました。これは会社の顔となる社長や担当者の方、あるいは存在しない方でも、新たな会社の顔として、アバターを作り、そのアバターに企業紹介や商品紹介、あるいは求人広告など、多岐にわたり広報してもらいます。アバターは、近年の AI による実像に近いものは使いません。インパクトが弱く、表現力に欠けるという判断です。当社ではキャラクターのアバターを作成、豊かな表現をするために、眉、目、口などをリアルに動かせるように作り上げます。そのアバターは会社の顔として動画広告に登場、そのアバターが豊かな表情で、様々な場面で説明するのは、強烈で注目されます。

これは情報を得たい時に「誰かに聞く」という不変の人間行動

人が説明をし始めると、思わず聞いてしまう、という本来の情報収集にヒントを得て企画したものです。しかも説明する人がキャラクターならば、文字情報や静止画、ニュースのような退屈さもなく、新規性に富んでいます。これを新しい販売促進のツールとして展開します。当社のアバター動画広告をご参考どうぞ。



Youtube



アバターの広報にも企画力

キャラクター化されたアバターを活かすには

キャラクターとなったアバターが、真面目に説明してもインパクトは強いものです。サンプル動画を数社に見せたところ、その反応は「凄い！」「これなら最後まで見てしまう」といった好感触でした。このキャラクターは、モーションキャプチャーで、実際の人物よりも表情が極めて豊かになります。眉の動きや目の動き口など、実物ではこんなに動きません。キャラクターだからこそ自然な表現になります。

しかしながら、これは技術的な表現方法であり、たとえば優れた役者が居ても、優れた脚本がなければ、また背景が用意されなければ、いい演技はできません。いい演技をしないと観客に飽きられてしまいますし、感動も行動も起こすことができません。当社は長年にわたって、広告企画をしており、その骨子を外しません。また広告のコピーライティングも、ほとんど制作してきましたので、シナリオも企画に従ってライティングすることが可能です。表現に必要なグラフィックパーツの制作は専門ですし、アバター動画広告は、これまでにないレベルの動画広告となります。

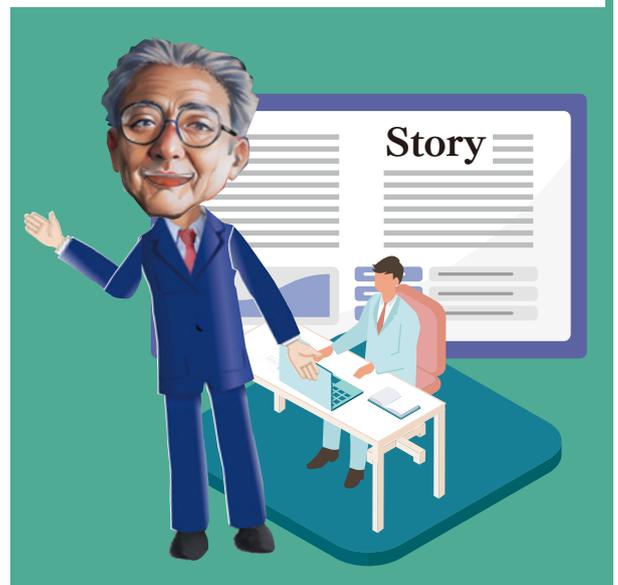
アバターの働く内容と活動範囲は

ここで作られるアバターは企業の顔として、様々な場所で働きます。

企業の紹介はもちろん、販売している商品やサービスの案内、求人の案内、講演会、社内セミナー、展示会での動画案内、などと広がっていくでしょう。

また活動は、Youtube などの SNS や、クライアントへのご案内として動画配信、営業マンが持ち歩く営業ツールとして動いてもらうこともできます。新人の方でも、アバターが支援できます。

このアバターが顔となれば、パンフレットや広報誌など、総合的に企業ブランディングが作れます。



アバター動画広告の優位点

「活きている」アバターが求められる

現在「アバター動画広告」で検索すると、いくつかの動画に行き着きます。ですが、やはり AI を使った表現であり、実際のように (AI が学習したデータから作成するため) 自然な動きはできますが、個性的な表現は困難です。当社の作るキャラクターアバターは、アバターを作るためにソフト別に 4 工程、編集にはシナリオ完成後、ソフト別に 5 工程を要します。特長として、制作技術によって表現の幅を広くし、感情表現を豊かにできます。ゆえに個性的なキャラクターを作れます。AI アバターと比較して頂ければ一目瞭然です。実際の人物的な AI アバターを選ばず、このキャラクターアバターにした理由は、ここにあります。

他にはない、全く新しい販促の手法

キャラクターアバターは、注視効果の高い、これからの販促ツールとなります。現在のところ、このような動画広告は存在しません。それには、デザイン力、広告企画力、高度な表現技術を要するためだと考えられます。動画広告制作はその制作会社に、デザイン会社には印刷デザインを、という社会ですが、当社はその両方を持ち得ているために、実現できたものです。訴求したい情報ごとに印刷ツールを制作するより、このアバターに多くの場面で説明してもらう方が、情報の浸透が図れます。「読めば解る」という時代ではありません。今後、企業には複数の内容の動画を作成し、ストックしてデジタル広告集として保有、様々なネットからの要求や、御社へのアクセスに対して、適応できるデジタルツールとなっていきます。各種類のパンフレットなども、まだまだ生きていますが、デジタルツールなら、再編集して最新の情報とすることも可能です。



アバター動画広告の制作料金

これが動画広告制作費の一般的価格

当社のようなアバター動画広告を制作できる会社は無いと思われませんが、一般的な動画広告制作会社は、多く存在します。ネットで検索すればお分かり頂けると思います。ここでは、実際にモデルに出演してもらい、撮影はスタジオです。多くのスタッフや機材が必要となります。ナレーションもスタジオで行ない、それぞれスタジオ使用料が発生します。編集過程で必要なグラフィックパーツ(ロゴマーク、タイトルや説明図、フローチャートなど)やイメージ写真、BGMなどの取得経費も必要です。これは決して特別なことではなく、一般的な平均価格だと考えられます。ではモデルや撮影費用を抑えるために、アニメーションにしたらどうでしょう？アニメ専門のスタッフが必要になり、価格を抑えることは難しいと思われま

アバター動画広告の制作費は、驚きの低価格です。

単純に上記の動画広告制作費と比較はできませんが、アバター動画広告ではモデルの撮影もなく、ナレーションも不要です。キャラクター制作も、ナレーションもAIで行ないます。ただキャラクターは、表情を作るために、顔の各パーツを複数(20パーツ程度)作り上げます。最も重要な情報の構成企画、そのシナリオ作り、編集に必要なグラフィックパーツは、デザイン会社なので、得意とするところです。この価格表は、約5分程度の動画制作です。簡単なロゴ、システム図なども含まれます。またアバター制作費は初回のみです。2作目以降は不要となります。1~2分程度のショート動画は、さらに安価に設定します。

一般的な動画広告制作料内訳

企画料(構成案)	100,000
撮影料	
ロケハン等準備費用	20,000
撮影費	400,000
スタジオ使用料	200,000
機器使用料	50,000
モデル・ヘアメイク	210,000
スタイリング・衣装	150,000
グラフィックパーツ制作費	100,000
映像編集費用/素材購入	240,000
MA(マルチオーディオ)費	
ナレーター費	70,000
MAスタジオ費	100,000
BGM(著作権フリー)費	20,000
小計	1,840,000
合計(消費税込)	2,024,000

※この見積りでは、動画時間やクオリティは不明、3分前後程度と推測。

アバター動画広告制作料

企画料(構成シナリオ)	100,000
アバター制作料	150,000
映像編集費	200,000
グラフィックパーツ制作費	150,000
MA費(AI音声を使用)	0
BGM(著作権フリー)利用	0
小計	600,000
合計(消費税込)	660,000

※上記の見積りは、動画時間などで、変動する場合があります。方向性が確認できた後に、正式なお見積りを作成しますが、大きく変わることはありません。上記価格は現在サービス価格です。

アバター動画広告の活かし方

情報を伝える方法は、他にも多くある

先に述べました通り、当社は45年間、実に多くの情報を伝える手段を使って広告を制作させて頂きました。自然現象を会社の方向になぞらえて、企業の前向きな方向として理解してもらうこと。イラストを組み合わせて現実にはありえない状況を作り、快刀乱麻のように解決していく企業姿勢を理解してもらうこと。企業の先進的な技術を、別の素材で表現し理解してもらうこと。何もかもシンプルに表現し、企業の大きさを印象付けること。

デザイン企画といえば、それまでですが、企業の発信する情報を極力、分かりやすく理解してもらうための手法でした。幾多の企業で行われた販促会議も、そういう表現の是非が主題となっていました。

これからも、まだまだ多くの場面で続いていくでしょう。

しかしながら、革新的な情報の伝達方法があったのです。それは現代の「文字離れ」「新聞離れ」「テレビ離れ」においても、画期的な手法なのです。

企業のコンセプト案内、発売する商品の説明、企業が理解を求める内容を、企業の顔となったキャラクターが、視聴者に語りかけるのです。これに勝る情報伝達の方法があるのでしょうか？今のところ、考えられません。

これからも進化を続ける、アバター動画広告

キャラクターによるアバターは、技術的にも、さらなるバージョンアップが考えられ、より表現の幅が広がって、おそらく次々に進化していくと考えられます。当社も対応していきます。

そして、このキャラクターアバターは日本語に限らず、各国の言語を話すことができます。

海外戦略をお考えの企業様も、目的の国において、営業活動の先陣を切ってくれるアバターとなることが、期待できます。



アバター動画広告が活きる組織

アバター動画広告を活かせる組織とは

これまで、情報を伝えることが難しいと考えられていた組織に適合します。それほど、アバター動画広告は、視聴者に理解を促す広報手段だからです。ユーザーに情報を理解して頂き、動いてもらうことを求める企業はもちろんです。商品の購入促進、企業の印象度を上げる、セミナーなどの参加を誘導、求人情報として募集案内する、難しい仕組みなら理解しやすくする、などが考えられます。これまで印刷物や、テレビCM、新聞広告のマスメディアに依存してきた広報体制から、さらに核心に近いところまで訴求することが可能となったのです。

そういう観点からは、難しい内容が多いお役所(高齢者への理解を上げられます)の広報活動や、相談者が多く訪れる法律関係事務所(内容ごとに丁寧に説明できます)、理解が困難な仏教関係(ご住職の法話や、お檀家への連絡、寺院施設の利用案内などができます)でも、ご住職のアバターが活動できます。システムが難しい教育機関や塾などでの、優しい誘客活動(ご本人よりアバターが柔軟に対応)、また博物館や広報館でのアバターによる解説動画など(様々な資料や動画を入れて編集可能)が考えられます。

当社では、どんなことができるだろう?という疑問があれば、お問い合わせください。ご相談しましょう。

これからの制作活動に関して

ぜひ、お声をかけて頂ければ、たとえ遠方の企業様でも、こういう時代、ましてデジタルツールですので、ネットで打合わせや進捗状況をご確認頂くことが可能です。もちろん近隣でしたら、ご訪問して、ご案内もできます。

長文の本企画書をお読み頂き、誠にありがとうございました。少しでもお役に立てれば幸いです。

